

知床五湖地区における取組の進捗状況について

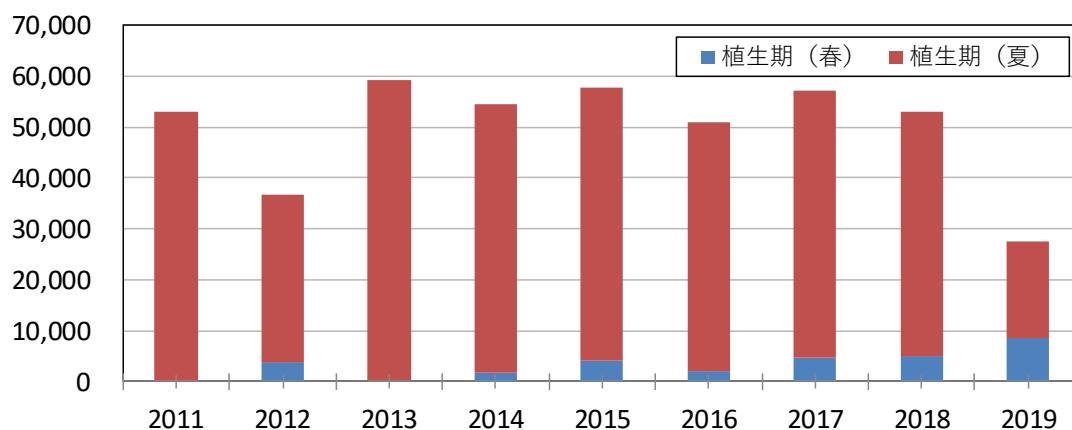
トピック

1. 春の植生保護期（開園～5/9）における地上歩道の立入認定者数は8,664人と、昨年度（4,875人）の約2倍となり、過去最高を記録した。一方、夏の植生保護期（8/1～）は、8月にヒグマによる遊歩道の閉鎖が継続し、8月の立入認定者数は18,995人（昨年比66%）と大幅に減少した。
2. ヒグマ活動期（5/10～7/31）における地上歩道の立入認定者数は16,086人（前年15,147人）と過去最高を記録。期間中のヒグマ遭遇回数は186回（前年119回）と過去最高となったが、ツアー中止回数は25回と前年度と同じであった。
3. 地上遊歩道のより安全でわかりやすい利用、かつ、安定的な開放を実現するため、春期植生保護期および秋期自由利用期の運用改定を検討した結果、来年度から、秋期自由利用期を植生保護期とすることとなった。

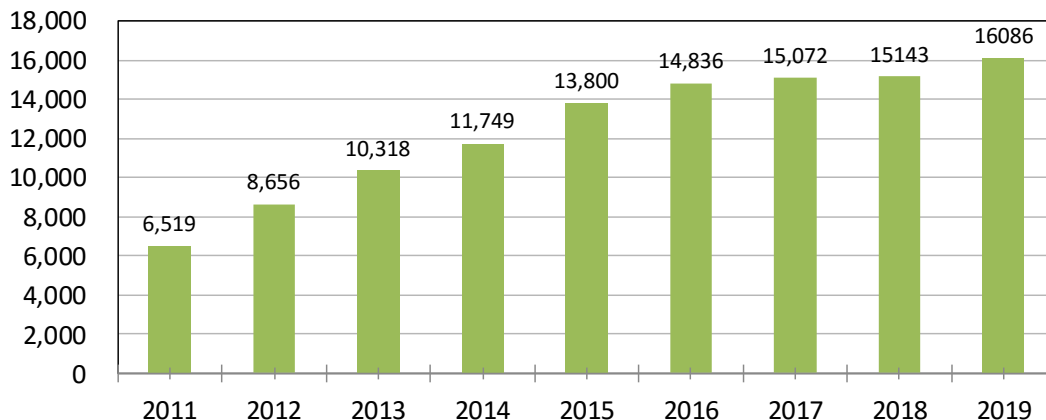
1. 知床五湖利用調整地区制度の運用

- ・今年度は4月20日（開園日）から知床五湖利用調整地区制度を運用中。
- ・植生保護期（春）（開園～5/9）における地上歩道の立入認定者数は8,664人であった。
- ・大ループの開放は5月6日（前年5月2日）となった。
- ・ヒグマ活動期における地上遊歩道の立入認定者数は登録引率者を含め16,086人と過去最高であり、同期における立入認定上限人数（33,781人）の48%で推移。
- ・期間中のヒグマ遭遇は186回（前年119回）で過去最高を記録したが、ツアー中止回数は25回と昨年度と同じであった。
- ・8月1日より植生保護期（夏）を運用中。8月下旬までヒグマの目撃による遊歩道の閉鎖が継続し、8月の立入認定者数は18,995人（昨年比66%）と大幅に減少した。8月の19日間は一時閉鎖や終日閉鎖が発生した。
- ・8月末までの知床五湖駐車場の利用車両台数は、乗用車44,170台（前年同期比110%）、バイク2,936台（前年同期比119%）、マイクロバス129台（前年同期比90%）、大型バス2,132台（前年同期比94%）であった。

※上記の値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。



図：植生保護期の立入認定者数の推移(人) *2019年は8月末時点



※現状のヒグマ活動期立入者数上限は 33,781 人(1日あたり 407 人×83 日)。

図:ヒグマ活動期の立入認定者数の推移(人)

2. 知床五湖利用期区分の再検討について

- ・地上遊歩道のより安全でわかりやすい利用、かつ、安定的な開放を実現するため、春期の現行植生保護期をヒグマ活動期に、秋期の現行自由利用期を植生保護期に変更することを検討するため、平成 29 年度から実施してきた検証実験の結果に基づき、協議会で検討した結果、下記に変更することとなった。

(現行)

4月15日～5月9日 (通称 植生保護期)	5月10日～7月31日 (通称 ヒグマ活動期)	8月1日～10月20日 (通称 植生保護期)	10月21日～閉園 (通称 自由利用期)
--------------------------	----------------------------	---------------------------	-------------------------



(改正案)

4月15日～5月9日 (通称 植生保護期)	5月10日～7月31日 (通称 ヒグマ活動期)	8月1日～11月15日 (通称 植生保護期)
--------------------------	----------------------------	---------------------------

- ・来年度からの実施に向け、利用適正化計画の改定等準備を進める予定。

3. 知床五湖の利用のあり方協議会、登録引率者審査部会の開催状況

- 第31回知床五湖登録引率者審査部会：令和元年7月4日
- 第40回知床五湖の利用のあり方協議会：令和元年9月2日

4. 知床五湖登録引率者に係る事項

- ・平成 31 年度は 32 名の引率者を登録（前年 35 名）。研修を実施中。
- ・平成 31 年 2 月 1 日～3 月 15 日まで平成 31 年度の新規養成者募集を行い、3 名の養成研修を実施中。